

電子国土基本図（小縮尺の基本図を含む。）は、デジタル時代に対応した、新たな国土の基本情報であり、地形図・地勢図等の基データとして、また電子国土Webの地図として利用されているほか、様々な電子地図の背景図・ベースマップとして用いられている。
 電子国土基本図が今後一層利用しやすいものとなるよう、利用者からの意見を踏まえて検討を行う。

2万5千分の1地形図 等

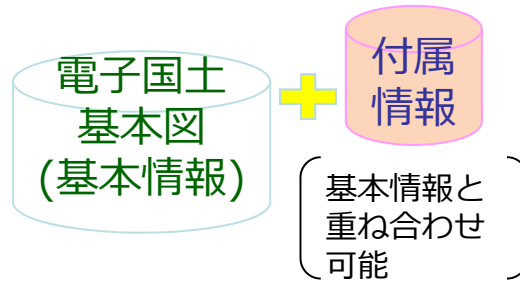


小縮尺地図 (20万分の1地勢図等)



平成19年 地理空間情報活用推進基本法制定・施行 → デジタルの地図データとしての活用を促進

電子国土基本図等



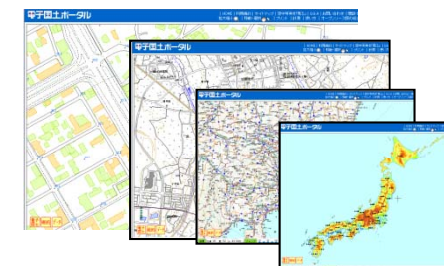
- ・国土の基本現況情報として全国を統一的に整備し、維持・更新。
- ・真位置のデータ、基本的な属性データの外、縮尺に応じわかりやすい表現とするための抽出・転移等のデータも整備。
- ・ユーザーニーズに対応し、国土地理院保有データの活用等により、GIS等で重ね合わせできるデータを付属情報として別途整備。

提供形態

デジタル(ベクトル)地図データ



電子国土Web地図



電子地形図

印刷図



地図として提供するものの表現については、従来の紙の地形図の表現を原点としつつ、よりよい表現となるよう改良を加え、さらに進化していく方向での取り組みを進める。

電子国土基本図の提供:

デジタルデータ(ベクトル地図データ)として、また電子国土Webシステムの地図としても提供するとともに、出力範囲・表現方法の選択機能等を搭載し、進化させた電子地形図(画像データ)、さらに印刷図としても提供する。

ベクトルデータ

- ・利用者が使いたい地理空間情報を容易に選択できる環境を実現するため、電子国土基本図(基本情報)や付属情報など様々な情報をパッケージ化して提供
- ・GIS等における処理・分析等で使いやすい形態で提供。

電子国土Webシステムの地図

- ・最新のベクトルデータを用いて、小縮尺から大縮尺まで幅広い縮尺でWeb上で閲覧する地図群で構成。
- ・縮尺に応じて表示項目・図式の取捨選択などを行い、ブラウザ上での分かりやすい表現を確保する。
- ・電子国土基本図に主題情報を重ね合わせ表示する機能を持たせる。

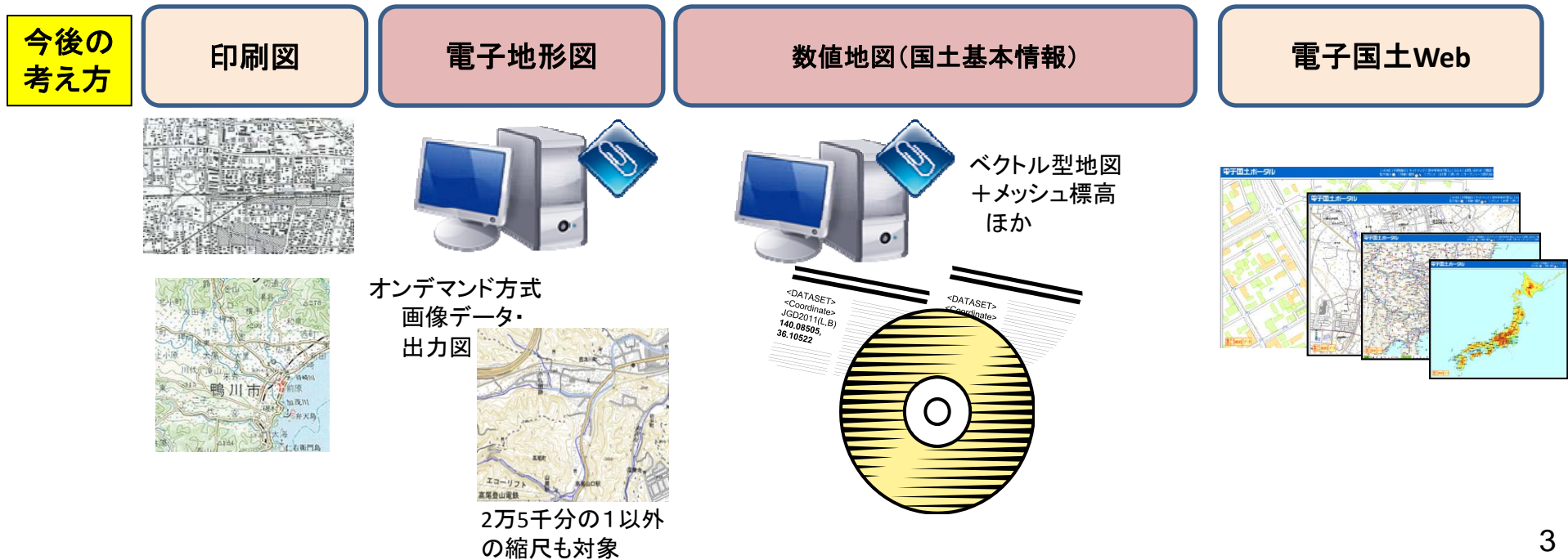
電子地形図(画像データ)

- ・最新のベクトルデータ等を基に作成した、縮尺2万5千分の1、20万分の1の縮尺で利用できる画像データ及びその出力図。さらにこの2種類のデータを基にした1万分の1、5万分の1、10万分の1の電子地形図、さらには100万分の1の電子地形図についても検討。
- ・従来の印刷図と同等に、印刷されて分かりやすい表現を確保する。
- ・範囲を選択する機能、重ね合わせる項目の取捨選択ができる機能、主題情報の重ね合わせの選択、表現方法の選択、解像度の選択ができる機能等をもたせる。

印刷図

- ・従来の地形図等について、全国について電子国土基本図から印刷して刊行を継続。(二サイズの大きい図郭は更新頻度を上げる)
- ・従来の地形図等の表現方法を踏まえ、さらに見やすい表現方法をした地図についても検討。

これまでの提供物との関係



国土地理院から利用者にとって使いやすい様々な形態で提供するとともに、それらを活用する民間サービス事業者等のニーズも踏まえて使いやすい形態で提供することによって、国土地理院が提供する地理空間情報のさらなる活用を推進する。

